

# 岡山県内のフードバンク等団体の実態

(2021年7月実施アンケートによる)

## 1. NPO 法人フードバンク岡山

### 1. 組織概要

団体正式名称	NPO 法人フードバンク岡山
代表者名	糸山 智栄
メールアドレス	gakudou@mx6.tiki.ne.jp
住所	岡山市北区岡町 14-9 岡町ビル 202
電話/Fax	086-801-5071
ホームページ URL	http://fb-okayama.com
設立年(団体の設立年)	2012年4月
フードバンク活動の開始年	2012年4月
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ:0名/ ボランティアスタッフ:案件ごとことなる 常駐はなし
法人格の取得の有無	<u>NPO 法人</u> その他法人( )・法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	<u>はい</u> ・いいえ (あてはまる方に○をご記入ください)
アンケート記入者名	

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度(認定 NPO 法人制度)の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

これまで「無駄」になっていた「たべもの」とそれを必要とする「ひと」とのつながりを創造するフードバンク活動を推進することにより、地域社会のいっそうの成熟に寄与することを目的としている。

### 3. 活動を始めた経緯

2011年農林水産省が行っていたフードバンク立ち上げの調査をきっかけに、岡山市にはまだ1つもフードバンクがないということで必要性を感じ設立。

### 4. 活動内容

地域福祉・環境保全・教育等の社会的な課題に取り組む団体・農家や食品メーカー等の食品及び製造・加工等に携わる団体やスーパー・商店及び宅配等の食品流通等に係わる団体または個人に対して、これまで無駄になっていた「たべもの」と、それを必要とする「ひと」とのつながりを創造する活動を推進すること。

### 5. 食品を提供している団体や個人

児童養護施設、母子生活支援施設、自立援助ホーム、障害者施設、生活困窮者支援団体、シェルター、更正支援施設、地方公共団体、学校外学習生活支援団体、こども食堂

### 6. 直近2年間の食品取扱量

(2019年度): 31.266 kg / ( )年度): kg・t

### 7. 食品の受け取り方法

Q.主にどこから受け取っていますか？

・スーパー・小売業8社・食品製造・加工・卸3社・一般企業(災害備蓄品寄付)6社・病院1法人  
・行政・社会福祉協議会4団体

Q.どのように受け取っていますか？

企業⇒1箇所もしくは複数箇所に郵送をお願いします。

個人⇒基本持込(引取に行くことはほぼない)

Q.輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

ほぼゼロ。

Q.輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

企業側に輸送コストをお願いしている。

8. 食品の在庫保管

冷蔵庫：ある・ない

冷凍庫：ある・ない

保管倉庫（常温保管）：ある・ない

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	○			○
・米	○			○
・飲料	○			○
・缶詰め	○			○
・レトルト等の保存食	○			○
・加工食品（常温）	○			○
・調味料類	○			○
・冷凍品	○			○
・お菓子	○			○
・備蓄品	○			○
・インスタント食品	○			○
・その他（日用品）	○			
・その他（）				

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月 回 / 日にち・曜日

11. 受け渡しについて

・引取にいける・いけない（相談の上調整）

・引取にいける場合、その範囲（相談の上調整）

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？

はい・いいえ

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えて下さい

13. 問題点や疑問点

## 2. 更生保護施設等支援協議会

### 1. 組織概要

団体正式名称	更生保護施設等支援協議会
代表者名	炭谷茂
メールアドレス	Fujimoto-haruo@assess.co.jp
住所	岡山市北区富田町2丁目3-14
電話/Fax	090-7595-7146
ホームページ URL	<a href="https://kouhokyo.com/introduction/">https://kouhokyo.com/introduction/</a>
設立年(団体の設立年)	2018年
フードバンク活動の開始年	2018
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ: 0名 / ボランティアスタッフ: 20名
法人格の取得の有無	NPO法人・その他法人( )・○法人格は取得していない
認定NPO法人*である	はい・○いいえ (あてはまる方に○をご記入ください)
アンケート記入者名	藤本晴男

\*認定NPO法人とは認定特定非営利活動法人制度(認定NPO法人制度)の認定を受けているNPO法人を指します  
詳しくは内閣府NPOホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

食品ロス削減、再犯防止、青少年健全育成、地球温暖化対策

### 3. 活動を始めた経緯

県職員の要請、仲間の活動協力、保護司活動、SDGsの取り組み開始

### 4. 活動内容

フードバンク活動、環境教育、ちいき支援

### 5. 食品を提供している団体や個人

更生保護施設、薬物等依存症自立施設、ホームレス支援グループ、児童養護施設、障害者施設等

### 6. 直近2年間の食品取扱量

(2019年度): 2.6 t / (2020年度): 11.2 t

### 7. 食品の受け取り方法

Q.主にどこから受け取っていますか?

食品スーパーチェーン、食品製造業

Q.どのように受け取っていますか?

グロッサリー 毎月回収に訪問

デイリー 指定日に引き取り

Q.輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか?

自家用車

宅配料金は年間約15万円

Q.輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか?

施設等が店舗からの直接受け取り

8. 食品の在庫保管

冷蔵庫：ある・ない○  
 冷凍庫：ある・ない○  
 保管倉庫（常温保管）：ある・ない○

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	○			
・米	○			
・飲料	○			
・缶詰め	○			
・レトルト等の保存食	○			
・加工食品（常温）	○			
・調味料類	○			
・冷凍品	○			
・お菓子	○			
・備蓄品	○			
・インスタント食品	○			
・その他（ ）				
・その他（ ）				

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月 回 / 日にち・曜日

11. 受け渡しについて

- ・○引取にいける・いけない
- ・引取にいける場合、その範囲 県内全域及び近県

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？

○はい・いいえ

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えて下さい  
 (書きようがありません)

13. 問題点や疑問点

特にありません。

### 3. NPO 法人岡山きずな

#### 1. 組織概要

団体正式名称	NPO 法人 岡山きずな
代表者名	理事長 岩田 弘明
メールアドレス	okayamakizuna@gmail.com
住所	岡山市北区中山下 1-5-25
電話/Fax	086-221-2822/086-201-5508
ホームページ URL	http://www.okayamakizuna.com/
設立年（団体の設立年）	平成 23 年
フードバンク活動の開始年	2011 年
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ： 8 名/ ボランティアスタッフ： 15 名
法人格の取得の有無	NPO 法人
認定 NPO 法人*である	いいえ
アンケート記入者名	那須 生男

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度(認定 NPO 法人制度)の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

#### 2. 活動理念

ホームレス状態にあるおそれのある人々、ホームレス状態に置かれた人々に対して、さまざまな社会資源を利用し、居住の場の確保、就業の機会の確保等自立支援に関する事業を行うことにより、安定した生活の維持を実現し、全ての住民にとって好ましい町づくりの推進に寄与する。

#### 3. 活動を始めた経緯

岡山市内のキリスト教会メンバーが中心に任意団体「岡山・野宿者の冬を支える会」を設立。

#### 4. 活動内容

ホームレス状態になるおそれのある人々、ホームレス状態に置かれた人々に対して、積極的な関わりを持ち、様々な社会資源を利用して衣食住の確保や就業の機会の確保など、社会的な自立に向けた事業を行っています。  
路上生活者等の命をつなぐための炊き出しや巡回活動、健康・法律・年金などの相談支援や居場所づくり、見守り活動による自立や就労支援を行っています。

#### 5. 食品を提供している団体や個人

B 型作業所や、低年金、困窮家庭など。

#### 6. 直近 2 年間の食品取扱量

( 2019 年度): 4t / ( 2020 年度): 4t

#### 7. 食品の受け取り方法

Q. 主にどこから受け取っていますか？

おかやまコープ 藤田本部

Q. どのように受け取っていますか？

倉庫内のカートに入れていただいているので、それを受取ってます。

Q. 輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

自動車です。ガソリン代金、年 20,000 円。

Q. 輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？  
特にはありません。

8. 食品の在庫保管

冷蔵庫：ある  
冷凍庫：ある  
保管倉庫（常温保管）：ある

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	○	3,072	3,200	
・米	○	60	60	
・飲料	○	120	120	
・缶詰め	○	30	30	
・レトルト等の保存食	○	30	30	
・加工食品（常温）	○	30	30	
・調味料類	○	100	100	
・冷凍品	○			○
・お菓子	○	10	15	
・備蓄品	○	10	10	
・インスタント食品	○	10	15	
・その他（ ）				
・その他（ ）				

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月 8 回 / 日にち・曜日 土・日曜日以外

11. 受け渡しについて

- ・引取にいける
- ・引取にいける場合、その範囲 岡山市内及びその近辺

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？

いいえ

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えてください

13. 問題点や疑問点

賞味期限切れ間近の食品を大量にいただいた時、その食品が需要が見込めない時があり、どのように配ってあげればいいのか悩むことがあります。

#### 4. 水島子ども食堂ミソラ♪ならびに、フルハウス

##### 1. 組織概要

団体正式名称	水島子ども食堂ミソラ♪ならびに、フルハウス
代表者名	井上正貴
メールアドレス	masa28feb@gmail.com
住所	岡山県倉敷市水島北春日町 5-17 ハルハウス
電話/Fax	080-8383-3915
ホームページ URL	<a href="https://www.facebook.com/mizushima.misora/">https://www.facebook.com/mizushima.misora/</a> <a href="https://www.facebook.com/minnanoouchi.haruhouse">https://www.facebook.com/minnanoouchi.haruhouse</a>
設立年（団体の設立年）	2017年
フードバンク活動の開始年	2017年
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ： 0名/ ボランティアスタッフ： 8名
法人格の取得の有無	法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	いいえ
アンケート記入者名	代表・井上正貴

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度(認定 NPO 法人制度)の認定を受けている NPO 法人を指します

詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

##### 2. 活動理念

水島エリアにおける子ども食堂及び居場所機能の充実により、持続可能な社会づくりに貢献します。  
抗議／要求・主義／主張による対立をせず、対話し、ともに考える姿勢を大切にして、活動しています。

##### 3. 活動を始めた経緯

岡山市内の子ども食堂を見学したこと。水島という町にも豊かさを伝えられる居場所が必要だと実感したこと。

##### 4. 活動内容

コロナ禍以前は、月に一回 50 人を集めての食堂イベントを開催していました。コロナ禍では、調理などができなくなったため食べ物を集めてお渡しする、フードシェア会に切り替えています。また常設の居場所を設け、その活動の持続的な発展に取り組んでいます。

##### 5. 食品を提供している団体や個人

困窮世帯やひとり親世帯も含めて、食材をシェアすること自体を楽しめる方や団体に提供しています。また、そのことをきっかけに支援団体への繋ぎを行うことや、シングル世帯や困難を抱える世帯の学生などを招いての小規模な食事会などを開催しています。

6. 直近2年間の食品取扱量

すみません。計測はしていません。

7. 食品の受け取り方法

Q. 主にどこから受け取っていますか？

NPO 法人ジャパンハーベストを通して、ハローズ2店舗から。  
また地元の社会福祉協議会、企業、個人などからです。

Q. どのように受け取っていますか？

以前はこちらから取りに伺っていましたが拠点ができてからは、  
持ってきてもらうようになりました。

Q. 輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

乗用車で年間どのくらいだろう。あまり測ったことがありません。

Q. 輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

ルートをシンプルに、できるだけ美しく。一筆書きで行って帰って来られるように組んでいます。

8. 食品の在庫保管

冷蔵庫：ある

冷凍庫：ある

保管倉庫（常温保管）：ある（自宅用の冷蔵庫です。拠点自体が昔ながらの一軒家の住居なので。）

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	○			○
・米	○			○
・飲料	○			○
・缶詰め	○			○
・レトルト等の保存食	○			○
・加工食品（常温）	○			○
・調味料類	○			○
・冷凍品	○			○
・お菓子	○			○
・備蓄品	○			○

・インスタント食品	○			○
・その他（生理用品など）	○			○
・その他（日用品。サララ ップなど）	○			○

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月 15 回 / 日にち・曜日・・・火曜、木曜、第三土曜など

11. 受け渡しについて

- ・引取にいけるが、届けていただけると助かる。
- ・引取に行く場合、その範囲…倉敷市内

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたって、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？

いいえ

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えてください

13. 問題点や疑問点

日用品は使用できるかどうか。食品は食べても健康上問題ないものかどうか。当たり前だがそのラインを見極めチェックするのは結構な手間。野菜は腐食しているものもあるし、お菓子などは賞味期限切れのものもある。以前は、消費期限切れの冷凍食品が回ってきたことも。受け取らなければそれで済むのだが、その場での勢いやお互いの関係性を優先させてしまうと受け取らざるを得ないこともあり難しい。厳格でなくても、各団体が自分たちとしての方向性を打ち出すべきだと感じている。（市民団体の取り組みと、製造のメーカーや販売店舗のマッチングがうまくいくように。）

今後は、冷蔵品、冷凍品ともに保存がきく状態のまま受け取り、消費することを徹底します。

## 5. フードバンクせとうち

### 1. 組織概要

団体正式名称	フードバンクせとうち
代表者名	港 定明
メールアドレス	minato14@plum.ocn.ne.jp
住所	岡山県瀬戸内市邑久町尾張 700-1
電話/Fax	0869-22-0433/0869-24-1255
ホームページ URL	
設立年（団体の設立年）	
フードバンク活動の開始年	
スタッフ構成及び人数	専属： 1 名/ボランティアスタッフ： 3 名
法人格の取得の有無	法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	いいえ（あてはまる方に○をご記入ください）
アンケート記入者名	港 定明

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度(認定 NPO 法人制度)の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

「もったいない」「困っている人の為」

### 3. 活動を始めた経緯

他のフードバンク団体のお手伝いを始めたことがきっかけ。

### 4. 活動内容

物品の回収と分別・配布

### 5. 食品を提供している団体や個人

老健施設、高校（食物科の部活動）、子ども食堂（社会福祉協議会）、放課後児童クラブ、留学生、生活困窮者

### 6. 直近 2 年間の食品取扱量

（ 2020 年度）： 4 t / （ 2019 年度）： 2 t

### 7. 食品の受け取り方法

Q.主にどこから受け取っていますか？

近隣のスーパーマーケット

Q.どのように受け取っていますか？

毎週回収日を決めて回収に伺う

Q.輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

ガソリン代（1500 円/月程度）

Q.輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

回収物品の有無を事前に TEL 確認を入れる

8. 食品の在庫保管について

冷蔵庫：ない 冷凍庫：ない 保管倉庫（常温保管）：ない
-----------------------------------

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物				
・米	○	分別して測っていない	分別して測っていない	
・飲料	○	同上	同上	
・缶詰め	○	同上	同上	
・レトルト等の保存食	○	同上	同上	
・加工食品（常温）	○	同上	同上	
・調味料類	○	同上	同上	
・冷凍品				
・お菓子	○	同上	同上	
・備蓄品	○	同上	同上	
・インスタント食品	○	同上	同上	
・その他（アルコール飲料）	○	同上	同上	
・その他（ ）				

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日について

頻度 月 20 回 / 日にち・曜日 毎週 日、火、水、金、土曜
----------------------------------

11. 受け渡しについて

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引取にいける（基本直接引き取り）</li> <li>・引取にいける場合、その範囲 普段：瀬戸内市、岡山市東区西大寺 特別要請時：津山市、倉敷市水島</li> </ul>
--

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？	いいえ
はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えてください	

13. 問題点や疑問点

特になし 強いて言えば保管庫が欲しい アンケート設問9ですが、こんな暇や手間はかけられません。また、フードバンク活動そのものが廃棄される物品の有効活用と認識しているので、提供していただいた物品を肅々と分配するだけです。 ただ、一度に大量の物品が出て配布困難な場合はお声掛けください。配布に協力させていただきます。
--

## 6. NPO 法人リカバリーポイント 岡山ダルク

### 1. 組織概要

団体正式名称	NPO 法人リカバリーポイント 岡山ダルク
代表者名	千坂 雅浩
メールアドレス	Okayama-darc@key.ocn.ne.jp
住所	岡山県瀬戸内市邑久町福中 477
電話/Fax	Tel:0869-24-7522 fax:0869-24-7523
ホームページ URL	http://www.okayamadarc.com/
設立年（団体の設立年）	2009 年
フードバンク活動の開始年	令和元年 10 月
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ：1 名 / ボランティアスタッフ：2 名
法人格の取得の有無	<u>NPO 法人</u> ・その他法人（ ）・法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	はい・いいえ（あてはまる方に○をご記入ください）
アンケート記入者名	福田 和彦

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度（認定 NPO 法人制度）の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

薬物・アルコール依存症当事者による、当事者の支援。及び依存症の普及啓発活動

### 3. 活動を始めた経緯

岡山県内に薬物・アルコール依存症のリハビリ施設を立ち上げ、依存症者の回復支援を行う為。

### 4. 活動内容

施設内での依存症リハビリ、県内外での依存症啓発の為の講演活動及び刑務所等矯正施設受刑者の方の薬物依存症脱却指導・岡山県精神科医療センター内で毎週メッセージミーティングの開催・各種依存症当事者及び家族からの電話相談への対応等。

### 5. 食品を提供している団体や個人

頂いた食材は全て、当施設内で食事供与の際に消費しております。

### 6. 直近 2 年間の食品取扱量

(令和元年度)： 822 kg / (令和 2 年度)： 1678 kg

### 7. 食品の受け取り方法

Q. 主にどこから受け取っていますか？

- ・ハローズ邑久店/ハローズ長船店

Q. どのように受け取っていますか？

- ・毎週月・火・水の午前中に店舗まで直接引き取りに行く。

Q. 輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

- ・当施設保有の車両にて引取り。コストはガソリン代のみ。(近隣の店舗の為)

Q. 輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

- ・特になし(現状で特に問題なし。)

8. 食品の在庫保管について

冷蔵庫： <input checked="" type="radio"/> ある・ <input type="radio"/> ない 冷凍庫： <input checked="" type="radio"/> ある・ <input type="radio"/> ない 保管倉庫（常温保管）： <input type="radio"/> ある・ <input type="radio"/> ない
--

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物				<input type="radio"/>
・米				<input type="radio"/>
・飲料				<input type="radio"/>
・缶詰め				<input type="radio"/>
・レトルト等の保存食				<input type="radio"/>
・加工食品（常温）				<input type="radio"/>
・調味料類				<input type="radio"/>
・冷凍品				<input type="radio"/>
・お菓子				<input type="radio"/>
・備蓄品				
・インスタント食品				<input type="radio"/>
・その他（                    ）				
・その他（                    ）				

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日について

頻度 月12回 / 日にち・月・水・金 曜日
------------------------

11. 受け渡しについて

・ <input checked="" type="radio"/> 引取にいける・ <input type="radio"/> いけない ・引取にいける場合、その範囲 当施設より10km以内
---

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えて下さい	

13. 問題点や疑問点

特になし
------

## 7. 学校法人順正学園ボランティアセンター

### 1. 組織概要

団体正式名称	学校法人 順正学園ボランティアセンター
代表者名	加計 勇樹（ボランティアセンター長）
メールアドレス	volcen@office.jei.ac.jp
住所	岡山県高梁市伊賀町 8
電話/Fax	0866-22-3548 / 0866-22-3591
ホームページ URL	http://volcen.kiui.ac.jp/jei-dfk/
設立年（団体の設立年）	2001年9月
フードバンク活動の開始年	2015年11月
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ： 3名 / ボランティアスタッフ： 10名（学生含む）
法人格の取得の有無	NPO 法人・その他法人（学校法人）・法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	はい・いいえ（あてはまる方に○をご記入ください）
アンケート記入者名	吉井 敦子

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度（認定 NPO 法人制度）の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

順正デリシャスフードキッズクラブは、この活動を通じて、子どもの貧困の削減に取り組み、「食のセーフティーネット」の構築と、誰一人飢えることのない社会の実現を目指しています。

具体的には「子どもの健全な育成はまず食事から」という理念の下、岡山で日本最初の孤児院を設立した石井十次が唱えた「満腹主義」の精神に基づき、生活困窮支援世帯で過ごす子ども達にお腹いっぱい食べてもらうことを目的としています。

また、食料支援を行うことで、生活が困窮する子育て世帯の困窮脱却と生活の自立を促す一助になることも、同時に目指します。

### 3. 活動を始めた経緯

本取り組みは、順正学園の創立 50 周年記念事業の一環としてスタートしたものです。そもそもの経緯は、学校法人の前理事長・加計美也子が、報道で日本の子どもの貧困率が 16.3%（6 人に 1 人の割合、2014 年当時）と高い水準にあることを知り、これからの社会を担うであろう無限の可能性を持つ子ども達を支援していきたいと考え、開始に至りました。

### 4. 活動内容

順正デリシャスフードキッズクラブは、0 歳から中学生（15 歳以下）までの子どもを養育し、かつ生活が困窮している家庭に対して、無償で食料品を配送することで、子どもの健全な育成と世帯の自立を支援する取り組みです。

岡山・宮崎両県の 9 市町を対象に、毎月 1 回（第 3 木曜日）、主食・副食・嗜好品等を箱に詰め合わせ宅配便で個別に配送しています。

配送する食料品は、順正学園が独自に用意するほか、企業・団体等から外箱の破損、返品、防災品の入れ替え等により、商品として流通しなくなったものを寄贈していただき、全て無償で提供しています。

また、学園内外においてフードドライブも実施しています。

### 5. 食品を提供している団体や個人

当支援に対して、協定書を交わしている岡山・宮崎両県の 9 市町の住民において、0 歳から中学生（15 歳以下）までの子どもを養育し、かつ生活が困窮している家庭に支援の食品を提供しています。

### 6. 直近 2 年間の食品取扱量

2019 年度：7887.38 kg（配送量：14371.4kg） / 2020 年度：14396.86 kg（配送量：15638.9kg）

## 7. 食品の受け取り方法

Q. 主にどこから受け取っていますか？

- ・県内外の企業・団体（高梁商工会議所、高梁ライオンズクラブ、総社市社会福祉協議会、（株）岡三食品水車の里営農組合、そうじゃ地食べ公社他）
- ・フードバンク（フードバンク岡山、全国フードバンク推進協議会 他）
- ・県内のスーパーマーケット（ハローズ、天満屋ハピーズ、マックスバリュ西日本）
- ・個人

Q. どのように受け取っていますか？

- ・企業からの寄贈（宅配便他、事業所車両での引取り）
- ・定期的に事業所車両で引取りに行く（総社市内のスーパーマーケット、フードバンク岡山 他）
- ・個人からの寄贈（殆どが送料個人負担であるが、着払いで送っていただくこともある）
- ・県内および近県であれば寄贈の申し出により、事業所車両で引取りに行くこともある

Q. 輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

- ・宅配（クロネコヤマトを利用）
- ・輸送コスト：年間約 100 万円

Q. 輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

- ・ヤマト集荷の際には学生および職員のボランティアの協力を得ている

## 8. 食品の在庫保管について

冷蔵庫：ある・ない  
 冷凍庫：ある・ない  
 保管倉庫（常温保管）：ある ない

## 9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019 年度 取扱量 (7887.38 kg)	2020 年度 取扱量 (14396.86 kg)	今後 欲しい 食品
・野菜（根野菜のみ）・果物	○	123.21	205.95	○
・米	○	2950.10	6439.40	○
・飲料	○	1488.71	1454.72	○
・缶詰め	○	262.28	605.41	○
・レトルト等の保存食	○	203.58	1433.16	○
・加工食品（常温）	○	165.53	192.60	○
・調味料類	○	456.09	799.76	○
・冷凍品				
・お菓子	○	912.69	1624.45	○
・備蓄品及びその他加工食品	○	379.31	551.79	○
・インスタント食品（麺）	○	179.95	290.40	○
・乾麺類	○	165.95	269.40	○
・ミルク・ベビーフード	○	24.15	122.67	○
・生活用品・雑貨類	○	575.83	407.15	

## 10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 1月 1回 / 第3木曜日

11. 受け渡しについて

<p>引取にいける・いけない          ・引取にいける場合、その範囲： 岡山県内及び、近県（福山、尾道 鳥取県）</p>
--

12. 食品の安全について

<p>食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？</p>	<p>はい・いいえ</p>
---	---------------

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えて下さい

合意書の内容

転売再販等の禁止

- 1 順正 DFK クラブは寄贈品を転売せず、金銭その他の有価物や事業サービスと交換しません。  
また、受領者にも同様の指導をします。

使用範囲

- 2 順正 DFK クラブは、寄贈品を子ども支援事業のみに使用し、順正学園の行う他の事業に使用しません。

受領者

- 3 受領者とは、0才～中学生（15才）までの子どものいる生活困窮家庭で、食料品の提供を受ける者をいう。

寄贈品の品質

- 4 順正 DFK クラブは、食品衛生法その他適用される法令（賞味期限・消費期限に関する法令を含みます）に適合する食料品を受領します。そして、食料品受領後は関係法令に従って適切に取り扱い、品質の保持に努めます。また、受領者に対しても同様の指導を行います。

トレーサビリティ

- 5 順正 DFK クラブは、寄贈品の記録を適切に保持し、その使用状況について報告します。

事業報告

- 6 順正 DFK クラブは、会報やその他の方法で、事業計画および事業報告いたします。

寄贈品に対する問い合わせ

- 7 寄贈品に対する受益者からの問い合わせは、寄贈者に直接せず順正 DFK クラブに対して行うよう指導します。

事故発生時の対応

- 8 寄贈品に事故が起こった時は、順正 DFK クラブと寄贈者または関係機関によって行われる調査の結果に基づいて、適応される法令に従い、別途誠実に協議するものとする。

契約の解除

- 9 相手方の役員等が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有していることが判明したときは、この同意書の全部または一部を解除することが出来る。

13. 問題点や疑問点

<p>順正 DFK クラブはフードロス削減を目的とした活動ではなく、子どもを養育している生活困窮家庭への食料支援活動である為、破損や賞味期限切れの物は受領できないとの説明をしているにもかかわらず、実際にはスーパーマーケットからの寄贈品の中には、外装の破損したものや、賞味期限切れの食品が入っていることもある。</p>
--

## 8. フードパントリー倉敷

### 1. 組織概要

団体正式名称	フードパントリー倉敷
代表者名	吉田 真由美
メールアドレス	story.panda2020@gmail.com
住所	倉敷市福田町古新田 1112-7
電話/Fax	086-697-5951/FAX086-697-5953
ホームページ URL	
設立年（団体の設立年）	R3.3
フードバンク活動の開始年	R3.3
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ： 名/ ボランティアスタッフ：25名
法人格の取得の有無	NPO 法人・その他法人（ ）・○法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	はい・いいえ（あてはまる方に○をご記入ください）
アンケート記入者名	吉田 真由美

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度（認定 NPO 法人制度）の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

地域で暮らす全ての人の生活環境をより良くする為の活動を行い、地域で安心して生活できるよう活動する団体

### 3. 活動を始めた経緯

生活困窮者からの相談があったことがきっかけ

### 4. 活動内容

日々、生活困窮者への配分  
月1回のパントリー開催

### 5. 食品を提供している団体や個人

生活困窮者、生活保護世帯、産前産後のシングルマザー、子供食堂等

### 6. 直近2年間の食品取扱量

( 年度) : kg・t / ( 年度) : kg・t

### 7. 食品の受け取り方法

Q. 主にどこから受け取っていますか？  
・ハローズ・両備ストア・魚宗フーズ

Q. どのように受け取っていますか？  
・店舗に引き取りに行っている

Q. 輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？  
・ガソリン代がかなりかかっている（毎日引き取りに行っている為）

Q. 輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？  
・考えているが良い案がない

8. 食品の在庫保管について

冷蔵庫：○ある・ない 冷凍庫：○ある・ない 保管倉庫（常温保管）：○ある・ない
---

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	○			
・米	○			○
・飲料	○			○
・缶詰め	○			○
・レトルト等の保存食	○			○
・加工食品（常温）	○			○
・調味料類	○			○
・冷凍品	○			○
・お菓子	○			○
・備蓄品	○			○
・インスタント食品	○			○
・その他（生活用品）	×			○
・その他（ ）				

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月2回 / 日にち・曜日 平日の午後
-----------------------

11. 受け渡しについて

・○引取にいける・いけない ・引取にいける場合、その範囲 岡山県内
--------------------------------------

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？	○はい・いいえ
はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えてください ジャパンフードバンクリンクと同じ様式	

13. 問題点や疑問点

2021年度から活動をはじめました。どうぞよろしく申し上げます。
----------------------------------

## 9. NPO 法人おかやま UFE

### 1. 組織概要

団体正式名称	特定非営利活動法人おかやま UFE
代表者名	理事長 水谷 賢
メールアドレス	sumasapo@utenti.click
住所	岡山市北区東古松 4-4-22 サクラソウ 501
電話/Fax	電話 086-231-0841/FAX 086-231-0842
ホームページ URL	NPO 法人おかやま UFE - Utenti Familiari Esperti
設立年（団体の設立年）	平成 27 年 5 月 1 日
フードバンク活動の開始年	2019 年 6 月（記録があるのは 2019.6 から）
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ： 名/ ボランティアスタッフ： 名
法人格の取得の有無	NPO 法人・その他法人（ ）・法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	はい・いいえ（あてはまる方に○をご記入ください）
アンケート記入者名	永松 千恵

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度（認定 NPO 法人制度）の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

疾患や障害のある人々に対して、患者やその家族とともに、その専門性を生かして、医療、福祉、居住、就労等の支援事業を行い、もって、疾患や障害のある人々とどまらず、すべての人が安心してその人らしい生活を送ることができる地域社会の形成に寄与する活動を行っています。

### 3. 活動を始めた経緯

当団体は、高齢者、障害者、生活困窮者等の住まいの確保が難しい方に対する暮らしの安定に向けた支援に資する取組を行っている。令和 2 年 3 月 31 日付で、岡山県の居住支援法人として指定を受け、誰もが安心して地域で暮らし続けることができるよう地域共生活動を行っているところである。  
経済的にも、社会的にも困窮している世帯は、住まいの確保ができた場合にも、自立した暮らしを安定して継続することが難しいケースが少なくない。加えて、人間関係が希薄化している場合には、見守り等の支援が必要となる。

このため、フードバンク事業の実施にあたっては、食材の無償提供だけでなく、見守り等の生活支援と併せて行うことにより、自立に向けた伴走型支援として行っているところである。

フードバンク事業において提供する食材については、地域共生社会に向けた様々な活動を継続的に行う中で、当該活動に協力・賛同いただいた、岡山県内の高齢の農家や小売業者（スーパーマーケット）、お惣菜製造業者、小売り菓子業等の様々な法人・個人から、まだ食べられることができる食品等の寄付をいただいております。引き続き、ご協力いただける予定である。

また、食材の他、令和 3 年 7 月下旬には、フクシマガリレイ株式会社より、業務用冷蔵庫・冷凍庫、精米用冷蔵庫と 2 台寄贈いただくなど、地域におけるフードバンク事業の拠点として定着しつつある。

食材の提供にあたっては、本法人の拠点において配布するほか、自ら受け取りに来ることが難しい場合や孤立防止の観点から訪問による見守りを要するなど、利用者（要配慮者）の状況に応じて、当法人において利用者の自宅まで配達を行う。

### 4. 活動内容

フードバンク事業の実施にあたっては、食材の無償提供だけでなく、見守り等の生活支援と併せて行うことにより、自立に向けた伴走型支援として行っている。食品の無料提供による見守り等支援を実施することで困りごとを初期の段階からかわり、本人の課題解決に向けても、関係性が構築で来ているため、かわりやすさというものを outcomes に出してくる。食品提供から困窮を救う処だけでなく、人との関わりを増やす事業としても取り組んでいる。（別添資料 1：うてんでチラシ）

### 5. 食品を提供している団体や個人

児童施設や障害者施設、子ども食堂や、一時的に居所を必要としている方（シェルター利用者）への配布等

## 6. 直近2年間の食品取扱量

(2019年度)： 603.3 kg / (2020年度)： 1955.8 kg

※2019年度はハローズ十日市店のみであったため、少なくなっています。

2020年度からマルナカ、2021年度からハローズ当新田店、デリカライフ山崎が加わりました。

(別添資料2：参考)

## 7. 食品の受け取り方法

Q.主にどこから受け取っていますか？

- ・デリカライフ山崎 毎日 5~8 kg
- ・マルナカ（一宮店、高柳店、建部店、備前店、穂浪店）月1回
- ・ハローズ十日市店 週2回、ハローズ当新田店 週1回
- ・個人の寄付者や高齢農家さんからいただく野菜・お米 等

Q.どのように受け取っていますか？

- ・基本的には業者の処へ直接受け取りに行きます。
- ・個人で寄付をされる方は、直接お持ちいただくケースがほとんどです。
- ・高齢農家さんは、ケースバイケースです。

Q.輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

- ・自家用車で輸送しています。ガソリン代：約8千円/月
- ・雑費（小分けするラップや保存袋等）：サランラップ 250円\*5本/月・ジップロック 800円\*2箱/月

Q.輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

ありません。

## 8. 食品の在庫保管について

冷蔵庫：ある・ない

冷凍庫：ある・ない

保管倉庫（常温保管）：ある・ない

## 9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	○			
・米	○			
・飲料	○			
・缶詰め	○			
・レトルト等の保存食	○			
・加工食品（常温）	○			
・調味料類	○			
・冷凍品	○			
・お菓子	○			
・備蓄品	○			
・インスタント食品	○			
・その他（販売促進の景品）	○			
・その他（アルコール飲料 水）	○			

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 毎日

11. 受け渡しについて

- ・引取にいける・いけない
- ・引取にいける場合、その範囲 あまり遠保ではない範囲

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？

はい・いいえ

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えてください。

13. 具体的な問題点や疑問点

## 10. 岡山西温暖化対策地域協議会

### 1. 組織概要

団体正式名称	岡山西温暖化対策地域協議会
代表者名	大塚 栄次
メールアドレス	Asakuchi2011@yahoo.co.jp
住所	浅口郡里庄町浜中 841-2
電話/Fax	0865-64-4392 (FAX 兼用)
ホームページ URL	
設立年(団体の設立年)	平成 20 年 2 月 26 日
フードバンク活動の開始年	令和 3 年
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ: 0 名 / ボランティアスタッフ: 10 名
法人格の取得の有無	NPO 法人・その他法人( )・○法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	はい・○いいえ (あてはまる方に○をご記入ください)
アンケート記入者名	大塚 栄次

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度(認定 NPO 法人制度)の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

無駄とは、もったいない食品ロスと地球温暖化

### 3. 活動を始めた経緯

持続可能な社会の実現に向けたボランティア活動

### 4. 活動内容

地球温暖化に関する様々な対策活動の推進

### 5. 食品を提供している団体や個人

子ども食堂や児童クラブの支援提供

### 6. 直近 2 年間の食品取扱量

( R3 年度): 5 kg・t / ( 年度): kg・t

### 7. 食品の受け取り方法

Q.主にどこから受け取っていますか？

スーパーハローズ・パピーズ・ハピーマーケット

Q.どのように受け取っていますか？

直接受け取る

Q.輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

個人の自家用

Q.輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

なし

8. 食品の在庫保管

冷蔵庫：ある・○ない  
 冷凍庫：ある・○ない  
 保管倉庫（常温保管）：ある・○ない

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	○			
・米	○			
・飲料	○			
・缶詰め	○			
・レトルト等の保存食	○			
・加工食品（常温）	○			
・調味料類	○			
・冷凍品	○			
・お菓子	○			
・備蓄品	○			
・インスタント食品	○			
・その他（トイレットペーパー）	○			
・その他（洗剤）	○			

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月1回 / 日にち・曜日 第2の日曜日

11. 受け渡しについて

- ・○引取にいける・いけない
- ・引取にいける場合、その範囲

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？

はい・○いいえ

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えて下さい

13. 問題点や疑問点

賞味期限が切れた食品の場合、受け取るのが良いか、断る事が正しいのか、どちらにしたら良好なのか問題点あり。今は受け取っている。

## 11. 社会福祉法人岡山市社会福祉協議会

### 1. 組織概要

団体正式名称	社会福祉法人 岡山市社会福祉協議会
代表者名	会長 内田 通子
メールアドレス	yorisoi8730@mx36.tiki.ne.jp
住所	岡山市北区鹿田町一丁目1番1号 岡山市保健福祉会館7階
電話/Fax	086-225-4051/086-222-8621
ホームページ URL	okayamashi-shakyo.or.jp
設立年(団体の設立年)	1922年(大正11年)
フードバンク活動の開始年	2013年(平成25年)
スタッフ構成及び人数	専属・有給のスタッフ:13名/ ボランティアスタッフ: 名
法人格の取得の有無	NPO法人・ <del>その他法人</del> (社会福祉法人)・法人格は取得していない
認定NPO法人*である	はい・ <u>いいえ</u> (あてはまる方に○をご記入ください)
アンケート記入者名	生活支援・総合相談課 寄り添いサポート担当室 松原 智一

\*認定NPO法人とは認定特定非営利活動法人制度(認定NPO法人制度)の認定を受けているNPO法人を指します  
詳しくは内閣府NPOホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

岡山市社会福祉協議会基本理念：  
誰もが支え合いながら 安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくり

### 3. 活動を始めた経緯

- (ア) 岡山市寄り添いサポートセンター(生活困窮者自立相談支援事業)…平成25年12月から岡山市生活困窮者自立促進支援モデル事業への取り組みを開始したため。  
(イ) 子どもの居場所づくり等促進事業…平成30年度岡山市子どもの居場所づくり相談窓口設置事業への取り組みを開始したため。

### 4. 活動内容

- (ア) 生活困窮者に対する相談支援等  
(イ) 子どもの居場所等の立ち上げと運営継続支援

### 5. 食品を提供している団体や個人

- (ア) 生活困窮者から相談があった場合、生活状況の聴き取りを行い、緊急に食料支援が必要かどうか、また今後の生活の目途が立てられるかどうか判断した上で食料支援を行います。(原則1回限り)  
(イ) 企業等から寄付があった場合、子どもの居場所実施団体への分配調整を行います。

### 6. 直近2年間の食品取扱量

( 年度 ): kg・t / ( 全てを計量していないため回答できません。 )

### 7. 食品の受け取り方法

Q.主にどこから受け取っていますか？

- ①フードバンク協力店舗  
②企業からの寄付

Q.どのように受け取っていますか？

- ①各店舗に職員が訪問して、商品を受け取っています。  
②企業により異なるが、配送等により受け取っています。

Q.輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

- ①特に計算していません。ガソリン代や人件費等ですが、商品引き取りは2名体制で半日から1日がかかりで各店舗をまわっており、手間と時間がかかります。  
②職員がこどもの居場所に直接持参することがありますが、特にコスト計算はしていません。

Q. 輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

①②特にありません。

8. 食品の在庫保管

冷蔵庫：ある  ない

冷凍庫：ある  ない

保管倉庫（常温保管）  ない

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	<input type="radio"/>			
・米	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
・飲料	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
・缶詰め	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
・レトルト等の保存食	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
・加工食品（常温）	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
・調味料類	<input type="radio"/>			
・冷凍品				
・お菓子	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
・備蓄品	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
・インスタント食品				<input type="radio"/>
・その他（ ）				
・その他（ ）				

全てを計量していないため回答できません。  
項目別の計量もしていません。

量が多ければ配布可能

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月 回 / 日にち・曜日

希望頻度は特にありませんが、保存可能な食品をいただきたいので、一度に多くの量をいただけるのであれば、回数が少ない方が助かります。

11. 受け渡しについて

・引取に  いける ・いけない

・引取にいけない場合、その範囲 岡山市内ですが、遠くないところが希望です。

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？

はい  いいえ

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えて下さい

13. 問題点や疑問点

生活困窮者支援における緊急食糧支援では、いつ食糧が必要になるのかわからず、調理設備のない環境の方もいるため、常温で保存可能で、出来るだけ調理が不要な食品を希望しています。

## 12. 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会

### 1. 組織概要

団体正式名称	社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会
代表者名	会長 中桐 泰
メールアドレス	matsuoka@kurashikisyakyo.or.jp
住所	岡山県倉敷市笹沖 180 番地
電話/Fax	086-434-3301 / 086-434-3357
ホームページ URL	http://www.kurashikisyakyo.or.jp
設立年（団体の設立年）	昭和62年4月1日
フードバンク活動の開始年	令和3年
スタッフ構成及び人数	社会福祉協議会の職員で分担をしており、専従ではない
法人格の取得の有無	NPO 法人・ <del>その他法人</del> （社会福祉法人）・法人格は取得していない
認定 NPO 法人*である	はい <u>いいえ</u> （あてはまる方に○をご記入ください）
アンケート記入者名	松岡 武司

\*認定 NPO 法人とは認定特定非営利活動法人制度（認定 NPO 法人制度）の認定を受けている NPO 法人を指します  
詳しくは内閣府 NPO ホームページをご参照ください (<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

### 2. 活動理念

倉敷市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

### 3. 活動を始めた経緯

被災地支援やコロナ禍でのつながりの継続を支援するなかで、様々な個人・団体から寄せられた支援物品を活用した地域に応じた社会参加や支え合い活動を創出を図ることを目的に本プロジェクトを開始している。

### 4. 活動内容

様々な要因により、地域で孤立しがちな住民や食べ物や生活用品の確保に困っている相談者等に対して孤独の解消と安心した地域生活の継続を支援するため、相談支援機関や地域住民及び団体等と連携をはかりながら、食材や生活雑貨（以下「支援物品」という。）の収集や保管、地域における支え合い活動、相談支援機関との連携、緊急一時的な支援物品の提供を一体的に行う事業「くらしき互近助パントリープロジェクト」として実施。

### 5. 食品を提供している団体や個人

・障がい者（児）支援団体・こども食堂・社会福祉法人・地域交流拠点・子育て支援拠点・個人ボランティア・ボランティアグループ・地区社会福祉協議会・障がい当事者団体・被災地支援団体等

### 6. 直近2年間の食品取扱量

（令和2年度）：20件 / （令和3年度）：200件 ※kg数では集計していない

### 7. 食品の受け取り方法

- Q. 主にどこから受け取っていますか？  
・個人・農家・市場・企業・団体 等
- Q. どのように受け取っていますか？  
・本会窓口での受取が中心。
- Q. 輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？  
・提供者による持参が中心
- Q. 輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？  
・特になし

8. 食品の在庫保管

冷蔵庫：ある <input checked="" type="radio"/> ない 冷凍庫：ある <input checked="" type="radio"/> ない 保管倉庫（常温保管） <input checked="" type="radio"/> ない
--

9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物	○	-	不明	○
・米	○	-	不明	○
・飲料	○	-	不明	○
・缶詰め	○	-	不明	○
・レトルト等の保存食	○	-	不明	○
・加工食品（常温）	○	-	不明	○
・調味料類	○	-	不明	○
・冷凍品		-		
・お菓子	○	-	不明	○
・備蓄品	○	-	不明	○
・インスタント食品	○	-	不明	○
・その他（ ）				
・その他（ ）				

10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月 15回 / <input checked="" type="radio"/> 日にち・曜日
--

11. 受け渡しについて

<input checked="" type="radio"/> 引取にいける・いけない <input type="radio"/> 引取にいける場合、その範囲（倉敷市内）
---

12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えて下さい 食品の品質に問題があった場合や賞味期限・消費期限が切れた食品については受け取り側で処分する旨の説明と同意	

13. 問題点や疑問点

--

### 13. 社会福祉法人新見市社会福祉協議会

#### 1. 組織概要

団体正式名称	社会福祉法人新見市社会福祉協議会
代表者名	逸見 孝明
メールアドレス	syakyo-honsho-1@ex.city.niimi.okayama.jp
住所	新見市金谷 640-1
電話/Fax	電話 0867-72-7306 FAX 0867-71-2088
ホームページURL	http://www.shakyo-niimi.jp/
設立年(団体の設立年)	2005年
フードバンク活動の開始年	2015年
スタッフ構成及び人数	専属 有給のスタッフ: 3名/ ボランティアスタッフ: 名
法人格の取得の有無	NPO法人 <その他法人(社会福祉法人)> 法人格は取得していない
認定NPO法人*である	はい いいえ (あてはまる方に○をご記入ください)
アンケート記入者名	竹本 扉

\*認定NPO法人とは認定特定非営利活動法人制度(認定NPO法人制度)の認定を受けているNPO法人を指します  
詳しくは内閣府NPOホームページをご参照ください(<https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido/>)

#### 2. 活動理念

生活困窮により食べるものが無く困っている世帯等に対し、緊急的に食料給付等を行うことで一時的な生活の安定を図る。

#### 3. 活動を始めた経緯

平成27年4月から新見市社会福祉協議会において新見市の委託を受け生活相談支援センターを開設以降、生活困窮の相談が増加し、食料等緊急支援の必要性を感じたため。

#### 4. 活動内容

市民に呼び掛けて、ご家庭や事業所などで眠っている食料品をご寄付いただき、生活に困窮している世帯からの相談に応じ、その方の生活状況に合った食品を無償でお配りする。

#### 5. 食品を提供しているか団体や個人

生活相談支援センターで相談を受けた結果、食べるものが無く困っており支援の必要があると判断された世帯。

#### 6. 直近2年間の食品取扱量

(令和元年度): 1 kg (t) / (令和2年度): 1 kg (t)

#### 7. 食品の受け取り方法

Q.主にどこから受け取っていますか?

- ・市民の方々
- ・一般企業

Q.どのように受け取っていますか?

- ・手渡し
- ・郵送

Q. 輸送方法やコストはどのくらいかかっていますか？

- ・今のところなし

Q. 輸送コストや輸送の手間の削減のために工夫していることはありますか？

- ・食品の一時保管などについて岡山県社協に協力いただいている

### 8. 食品の在庫保管

冷蔵庫：ある ない

冷凍庫：ある ない

保管倉庫（常温保管）：ある ない

### 9. 取扱いのある食品と今後欲しい食品

	これまで 取扱いの ある食品	2019年度 取扱量(kg)	2020年度 取扱量(kg)	今後 欲しい 食品
・野菜・果物				
・米	○	694kg	715kg	○
・飲料	○	200kg	180kg	○
・缶詰め	○	18点	255点	○
・レトルト等の保存食	○	245点	230点	○
・加工食品（常温）	○	41点	34点	○
・調味料類	○	25点	10点	○
・冷凍品				
・お菓子	○	34点	18点	○
・備蓄品				
・インスタント食品	○	41点	30点	○
・その他（ ）				
・その他（ ）				

### 10. 1ヶ月に食品を希望する受け取りの頻度や日にち・曜日

頻度 月 回 / 日にち・曜日

### 11. 受け渡しについて

引取にいける いけない

- ・引取にいける場合、その範囲 新見市内

### 12. 食品の安全について

食品の寄付を受けるにあたり、何か問題が発生した場合に責任の所在を明確にするための合意書、確認書などの書面を交わしていますか？

はい いいえ

はい⇒合意書・確認書がある場合はその内容を教えて下さい

### 13. 問題点や疑問点

- ・消費期限を超過したものや、ライフラインが止まっている方や調理が難しい方等への支給が難しいもの(砂糖、ドレッシング等)をご寄付いただく場合がある。
- ・野菜など生鮮食品の配布について他市でどう取り組んでいるか知りたい。